

多根記念眼科病院

2024 年度年報

目 次

病院概要	2
診療部（眼科）	3
看護部	3
医療技術部（視能訓練科）	4
医療技術部（臨床検査科）	5
医療技術部（栄養科）	6
手術センター	7
薬局	8
医療安全部	10
事務部	13
資格一覧	14
学会発表	16

〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39

TEL : 06-6581-5800 (代表) FAX : 06-6581-5063

交通 :

電車

J R 大阪環状線・大正駅 または

大阪メトロ・長堀鶴見緑地線大正駅 下車徒歩 8 分

阪神なんば線・九条駅 下車徒歩 10 分

大阪シティバス

なんば より (60) 天保山行 境川停留所 下車すぐ

大阪駅前 より (88) 天保山行 境川停留所 下車すぐ



【病院概要】

院長	大路 正人
開設日	1988 年（昭和 63 年）10 月
病床数	58 床
標榜科目	眼科 / 麻酔科
土地・建物 (m ²)	敷地面積 991.76 m ² 延床面積 3,942.97 m ²
基準関係	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 4）/診療録管理体制加算 3 医師事務作業補助体制加算 1（20 対 1）/医療安全対策加算 1/医療安全対策地域連携加算 1 データ提出加算 1 口（医療法上の許可病床数が 200 床未満）/患者サポート体制充実加算 病棟薬剤師業務実施加算 1/救急医療管理加算/後発医薬品使用体制加算 3 25 対 1 急性期看護補助体制加算（看護補助者 5 割以上）/看護補助体制充実加算 1/せん妄ハイリスク患者ケア加算/入院ベースアップ評価料 109/外来・在宅ベースアップ評価料（1）/ 短期滞在手術等基本料 1/入院時食事療養（I）/薬剤管理指導料/コンタクトレンズ検査料 1 ロービジョン検査判断料/一般名処方加算/医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 4 に掲げる手術 治療的角膜切除術〔エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る）〕 角膜移植術（注 2：角膜内皮移植加算） 羊膜移植術/緑内障手術〔緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）〕 緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術） 緑内障手術〔濾過胞再建術(needle 法)〕 網膜再建術/医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術 黄斑下手術等（黄斑下手術、硝子体茎顎微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、眼窩腫瘍摘出術他） 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等（涙嚢鼻腔吻合術）/角膜移植術/上顎骨形成術等（上顎骨形成術） 療担規則第 5 条の 4 第 1 項及び療担基準第 5 条の 4 第 1 項の選定療養に関して支払を受けようとする場合の厚生労働大臣の定める基準による（24）白内障に罹患している者に対する水晶体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給に関する事項

(2025 年 3 月現在)

◆診療部（眼科）

【部署概要】

常勤医師 14 名と非常勤医師 16 名で構成されております。

【診療・部署体制】

眼科のなかでも専門分野が細分化され、診療が高度化してきた医療事情を踏まえ、当院では各専門領域の専門科を配置し高度な診療を提供しております。月曜日から金曜日まで 5~7 診体制で、一日平均患者数約 161 名（初診患者数約 21 名）の診療に当たっております。どの曜日にも網膜剥離、眼外傷、緑内障発作など緊急疾患に対応できる医師を配置し、緊急手術ができる診療体制にしております。また、最近では様々な眼内レンズが登場し、白内障手術も進化していますが、手術中にリアルタイムで計測分析する機器を導入し、患者様のニーズに合わせた高い精度での手術を行っております。

【診療・部署実績】

2024 年度の手術件数は 3,676 件で、内訳は白内障手術 1,958 件、網膜硝子体手術 812 件、屈折矯正手術 24 件、その他 882 件となっています。

加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬の硝子体注射は、上記の件数に含まれておらず、外来処置室にて年間約 1,906 件施行しております。

◆看護部

【部署概要】

<入院>

5 階・6 階病棟（2 フロア 1 看護単位：58 床）、6 階病棟の内 6 床を日帰り手術（ケアルーム）として利用。新入院患者月平均 209 名、病床稼働率 60.1%、平均在院日数 3.5 日。入院患者のほとんどが手術目的であり、短い在院日のなかで退院後の生活に支障がないよう多職種と連携して退院指導・支援に力を入れている。他施設からの紹介による緊急入院に迅速に対応できる体制を整えている。

<外来>

ケアルーム稼働率 79.7%

外来看護師は処置介助、検査介助、術前及び入院オリエンテーション、日帰り手術患者のケアを行っている。診察や検査の待ち時間短縮に向けて効率を重視しながら、一人一人の患者に丁寧な対応を心掛けている。

【診療・部署体制】

人員配置：一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 4）

　急性期看護補助体制加算 25：1（5 割以上）

看護要員：看護師 43 名、ナースエイド（看護補助者）4 名、病棟クラーク 1 名

　メディカルクラーク 23 名

看護方式：チームナーシング

【特色・トピックス】

1.看護部“お願い箱”的設置（2024.4～2025.3）

2.眼科看護部教育計画 眼科コース継続（2024.4～2025.3）

3.タスクシフト/シェアの推進（2024.4～2025.3）

4.TQM 活動（2023.4～2024.3）

　・Have a nice Vision! ～狙い目に納得して手術を受ける～

　・私の本日のメニューはこちら ～わかりやすい患者案内を目指して、次はどこで何する？～

5.社会福祉法人 日本ライトハウス

　視覚障害リハビリテーションセンター研修（2024.9）：滝谷英美・井藤久代

- 6.大阪市立西中学校職場体験受け入れ（2024.9）
7.目に関する健康講座（市民講座）（2024. 11. 1）
8.関西福祉科学大学臨地実習（2024.2）
9.看護部クリニカルラダー2024 年度新規取得者
　新人ラダー（2名）ラダーII（1名）ラダーIII
10.メディカルクラーク・病棟クラークラダー2024 年度新規取得者 18名
11.2024 年度医師事務作業補助者研修修了 7名
12.眼科コース修了者 4名
13.院内認定看護師コース 褥瘡予防・管理コース修了 1名
14.公益社団法人 大阪府看護協会令和6 年度代議員就任（2024.6～2025.6）：富永ルミ子
15.短期滞在日本外科手術研究会世話人更新（2024.4.1～2025.3.31）：富永ルミ子

【診療・部署実績】

- 1.看護目標に対する評価
　1) 部署別目標中間評価（9月）
　2) 部署別目標最終評価（3月）
2.看護部委員会成果発表会（3月）
3.TQM 発表会（3月）
4.看護研究発表会（3月）

◆医療技術部（視能訓練科）

【部署概要】

当科では各種眼科医療機器・器具を使用し、さまざまな視機能検査や斜視・弱視の訓練およびロービジョンケアなどを行っている。

【主な業務内容】

- ・眼科一般検査
　視力・眼圧・視野・色覚・眼底写真・コンタクトレンズ・白内障術前検査など
- ・斜視弱視検査および訓練指導
　斜視術前検査・弱視訓練・眼球運動訓練・輻湊訓練など
- ・ロービジョンケア
　低視力者に対するルーペ・遮光眼鏡・拡大読書器などの視覚補助具の選定、各種福祉サービスや身体障害者手帳に関する情報提供など

他にも屈折矯正手術では術前、術後の検査に加えて手術室でのオペレーターを担当し、白内障手術では日々のデータを入力、解析することで精度管理に役立てている。新しい多焦点眼内レンズ等の導入に際しても事前の準備や術後評価を行い、患者満足度の向上に努めている。

地元の幼稚園の眼科検診に医師とともに出向き、地域の検診にも参加している。

【診療・部署体制】

全員で取り組む一般検査の他により専門性の高い分野について 6 つのサブグループを組み、これらグループの活動を通じて技術の向上や問題解決をはかるとともに業務の改善にも取り組んでいる。また、新入メンバーの研修についてもグループ単位で行っている。

最近の診療では画像関連の検査業務が増加しており、写真、OCT グループへの人員育成の強化を行った。

【サブグループの構成】

A モード・エキシマレーザー・写真・ロービジョン・コンタクトレンズ・OCT

【特色・トピックス】

外来業務の運営において人員配置や各検査、カルテの流れを見直し業務の効率を改善した。

A モードグループでは多焦点眼内レンズの術前検査において、患者の理解の向上および時間短縮を目指し説明資料を作成した。

OCT グループではアンギオの測定、解析の技術、知識の向上に取り組んだ。

写真グループでは蛍光造影眼底写真の予約枠設定が週 2 日から毎日に増えたため、撮影者の育成を行った（2 名）。

エキシマグループでは予約台帳を廃止し、電子カルテ上での予約に移行した。2025 年 3 月末で、エキシマレーザーを使用しての手術が終了となった。

【診療・部署実績】

視能訓練業務

斜視・弱視視能訓練（9 件） 斜視術前・術後検査（162 件） プリズム眼鏡処方（95 件）

ロービジョンケア（37 件）

専門分野の活動

A モード

地域連携アイリスの会

「多焦点眼内レンズの手術におけるマルチコーディネーターの役割」発表者：田中（2024 年 9 月）

参天製薬社内研修会

「レンティスコンフォートの術前術後検査とアドバンテージ」発表者：佐藤（2024 年 9 月）

参天製薬 web 講演会

「CO から見る、術前術後検査の留意点」発表者：佐藤（2025 年 2 月）

写真

日本臨床眼科学会で眼科写真展に出展した眼底写真が、医学雑誌「眼科」の表紙に採用された。

各専門分野の学会に参加し部署内で報告を行い情報の共有を行った。

◆医療技術部（臨床検査科）

【部署概要】

感染管理業務・臨床検査関連業務を主とし、眼科検査業務(視能訓練科業務)および事務部業務の補助をおこなう。

【診療・部署体制】

臨床検査技師 1 名

感染管理業務 診療部・医療安全部等各部門（各部署）と連携して、院内感染防止対策を実施
院内感染防止対策委員会(ICC)の運営

臨床検査業務 検体採取・臨床検査データ確認・眼科領域 PCR 検査外注手配

眼科検査業務補助 超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)

事務部業務補助 各部署器材および機器の修理に関する管理・各部門（各部署）稟議書管理

【特色・トピックス】

COVID-19 およびインフルエンザ 検査における鼻腔・鼻咽頭検体採取および検体搬送の実施

各部門(各部署)間を組織横断的に業務の実施

各部門(各部署)からの各種問い合わせ・業務要請に対応

感染対策関連および医療機器(中材業務)関連学会への参加等による知見に基づいて業務を実施

【診療・部署実績】

感染管理業務 新型コロナウイルス感染症および季節性インフルエンザ 感染症 各種対応

感染症法改正に準じて 届出一覧・届出基準・届出様式の更新(随時)

臨床検査業務 手術前臨床検査結果のデータチェックを実施

COVID-19 およびインフルエンザ 検査における検体採取および検体搬送の実施

眼科検査業務補助 超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)の実施

事務部業務補助 各部門(各部署)における器材および機器の修理に関する管理の実施

各部門(各部署)における稟議書の管理の実施

手術支援室関連データの作成

◆医療技術部（栄養科）

【部署概要】

患者自身の回復力を高め、疾病治療に役立てることを目的として、各個人の病状に合わせた適切な食事を提供している。見た目や味だけでなく、視力が不良な患者が多いことを考慮し、料理と食器の色のコントラストにもこだわっている。おかげは一から手作りすることで、食物アレルギーや嗜好などの個別対応にも柔軟に対応することが出来ている。また、入院中の食事以外でも、必要な患者には、退院後の食生活に関する栄養相談や指導を行っている。

【診療・部署体制】

管理栄養士 1名

※給食業務は日清医療食品に委託（栄養士 1名、調理師 2名、調理補助 3名）

【特色・トピックス】

・昨年度に引き続き感染防止対策を実施し、患者が安心して食事を楽しめる環境整備を行った。

・新規入院患者には、入院時にアレルギー有無の確認と食事内容の説明を行い、安心安全な食事提供と事故防止に努めた。

・7階フロアは災害時の一時避難場所に指定されているため、患者を受け入れる場所作りと避難誘導を迅速かつ適切に行えるよう、2024年度は他職種合同で災害訓練を2回実施した。

【診療・部署実績】

《月別食事提供数》

	一般食	特別食	総食数
4月	1,818	335	2,153
5月	1,435	280	1,715
6月	1,699	255	1,954
7月	1,597	437	2,034
8月	1,842	353	2,195
9月	1,748	342	2,090
10月	1,738	355	2,093
11月	1,904	430	2,334
12月	1,850	515	2,365
1月	1,677	343	2,020
2月	1,713	382	2,095
3月	1,794	298	2,092

《行事食》

4月	お花見弁当	桜ちらし、桜餅
5月	端午の節句	箱寿司、柏餅
7月	七夕	七夕そうめん
10月	体育の日	栗ご飯
11月	紅葉弁当	松茸ご飯、芋羊羹
	冬至	ゆず味噌田楽
12月	クリスマス	クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1月	お正月	お節料理
2月	節分	恵方巻き、福豆
3月	ひな祭り	ちらし寿司

◆手術センター

【部署概要】

2024 年度の手術件数は 3,676 件で、白内障手術を中心に多数の手術を手がけてきた。手術センターでは、これらの手術を安全かつ迅速に実施できるよう取り組んでいる。

当院の特色として、予定手術に加えて多数の緊急手術を受け入れていることがあげられる。他施設からの紹介による網膜剥離や緑内障発作、眼内炎、眼外傷などの緊急手術をする可能性のある患者に対しては、事前に患者情報を地域連携室と共有し、迅速に手術を受け入れられる体制を整えている。2024 年度の当日緊急手術は 243 件（月平均 20 件）であった。

また、小児や認知症など、局所麻酔での手術が困難な患者に対しては、全身麻酔下での手術を実施している。2024 年度の全身麻酔手術は 466 件で、2023 年度に比べて 35 件増加しており、近年増加傾向にある。

限られた時間の中で多種多様な手術に対応し、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者の安全を第一に考え、常に患者の個別性を大切にして、患者中心の周術期看護の提供ができるよう努めている。

【診療・部署体制】

手術室：1～4 ルーム（4 ルームはエキシマレーザー専用手術室）

勤務体制：平日→居残り 1 名体制

土・日・祝日・後送日：待機 2 名体制

手術支援室職員数：11 名 常勤看護師 6 名（うち看護主任 1 名） 非常勤看護師 3 名 視能訓練士 1 名 メディカルクラーク 1 名

【特色・トピックス】

1. 手術室業務の標準化
 - 1) 業務の標準化のため業務改善を行い、他職種でタスク・シェア/シフトの促進に取り組んだ
 - 2) 術中看護記録の充実を図り、個別性のある周術期看護実践の提供に取り組んだ
2. 手術支援室の部署内教育体制の強化
 - 1) 役割別業務確認表・新入職者バスを活用した、新入職者指導に取り組んだ
 - 2) 眼科知識の向上のため、医師・看護師・視能訓練士による勉強会を実施した
 - (1)「視力について」新入職者勉強会（5月）
 - (2)「眼科検査」新入職者勉強会（6月）
 - (3)「網膜切開」症例検討会（6月）
 - (4) 新手術所見説明会：医師（8月）
 - (5) 心電図勉強会（10月）
 - (6) 麻酔器説明会（2025年3月）
3. 安全の確保危険インシデント・ヒヤリハット報告の啓発活動を強化する
 - 1) インシデント・ヒヤリハット報告の啓発活動を強化し、インシデント発生件数の削減（眼内レンズ関連、薬剤関連、眼内炎）に取り組んだ
 - 2) 他職種合同防災訓練の実施（3月）
役割別アクションカードの見直し・更新
4. 自己研鑽
 - 1) アイリスの会（9月14日）
 - 2) 第78回 日本臨床眼科学会（11月15日・17日）
 - 3) 第63回 日本網膜硝子体学会総会（12月8日）
 - 4) 手術室 感染対策セミナー（2025年1月18日）
 - 5) 第36回 日本眼瞼義眼床手術学会（2025年2月5日）
5. 他部署および多施設からの臨床実習の協力
 - 1) 大阪医療福祉専門学校 視能訓練士臨床実習2名（11月20日）

【診療・部署実績】

2024年度の手術件数：3,676件

手術内訳：白内障手術 1,958件 網膜硝子体手術 812件（うち強膜内固定 126件）緑内障手術 86件

涙道手術（涙道内視鏡下チューブ挿入術、涙囊鼻腔吻合術など）438件

その他の手術（斜視手術、角膜移植術、眼形成手術など）468件

全身麻酔手術：466件 局所麻酔：3,210件

当日緊急手術：243件（月平均20件）

1日平均手術件数（平日）：15.7件

◆薬局

【部署概要】

薬局では、安全かつ適正な薬物治療を提供できるよう薬剤師としての専門性を活かし、内服薬・外用薬・注射薬の調剤業務、特殊な院内製剤を作成する製剤業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、医薬品管理業務、治験業務などの業務に取り組んでいる。また、感染防止対策、医療安全対策、褥瘡対策などのチーム医療にも積極的に参加している。

【診療・部署体制】

常勤薬剤師：4名

医薬品情報管理室 1名

病棟専任薬剤師 3名

【特色・トピックス】

2024年度は、薬剤インシデント減少を目標に看護師と薬剤カンファレンスを密に行い、改善策を提案し実行した。医療安全部目標である薬剤インシデント10%減を達成することができた。また、薬局からのお知らせ・D Iニュースを5通/年発行し、眼科以外で使用される薬剤情報、点眼薬の副作用注意喚起などをおこなった。

病棟活動では、引き続き病棟薬剤業務実施加算を継続し、入院患者様に安心してお薬を使用していただけるよう病棟担当薬剤師を設置し主に病棟で活動している。

【診療・部署実績】

	入院							外来院内 薬剤情報
	新入院数	指導患者数	指導回数 (訪問)	薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品）	薬剤管理指導料（1の患者以外の患者）	退院時薬剤情報管理指導料	病棟薬剤業務実施加算1	
2024年4月	197	194	444	28	129	80	152	40
2024年5月	193	185	407	27	93	56	116	29
2024年6月	178	177	396	21	119	81	159	35
2024年7月	221	206	460	53	90	66	144	41
2024年8月	219	222	480	50	115	88	161	49
2024年9月	219	211	465	43	118	80	180	42
2024年10月	199	200	441	36	120	80	154	61
2024年11月	206	202	450	41	120	78	168	54
2024年12月	231	220	491	43	116	95	182	51
2025年1月	210	190	418	34	111	70	151	48
2025年2月	219	216	467	44	107	76	157	49
2025年3月	218	215	468	29	126	85	169	34
合計	2,510	2,438	5,387	449	1,364	935	1,893	533
月平均	209	203	449	37	114	78	158	44

	外来処方箋		外来 注射箋	入院処方箋		入院注射處 方箋	院外処方箋発 行枚数
	枚数	剤数		枚数	剤数		
2024年4月	70	113	232	565	1427	87	1784
2024年5月	66	103	238	540	1358	75	1763
2024年6月	57	69	213	543	1326	78	1658
2024年7月	69	97	282	645	1541	92	1822
2024年8月	77	114	212	613	1561	102	1692
2024年9月	67	92	236	595	1455	103	1713
2024年10月	91	135	259	581	1412	102	1872
2024年11月	82	120	221	627	1531	121	1637
2024年12月	79	107	229	643	1644	125	1675
2025年1月	62	78	208	547	1369	103	1589
2025年2月	81	108	190	601	1511	93	1576
2025年3月	50	59	198	602	1501	112	1690
合計	851	1,196	2,698	7,102	17,636	1,193	20,471
月平均	71	100	225	592	1,470	100	1,706

◆医療安全部

【部署概要】

医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の推進を図ることを目的として、医療安全管理委員会と連携しながら活動を展開している。

主な業務内容

1. インシデントレポートを集計し、問題を分析する。
2. 医療事故等の原因究明と防止策の立案、実施及び評価を行う。
3. 日常的に院内をラウンドし、各部署の医療安全マニュアルの遵守状況、インシデントに対する改善策の実施状況を確認し、必要な指導を行う。
4. 医療安全マニュアルの策定、整備を行う。
5. 医療安全に関する職員研修の企画及び運営を行う。
6. 相談窓口担当者と連携し、患者・家族からの相談に対応する。

【診療・部署体制】

医療安全部長（副院長）

医療安全管理者（看護師）

医薬品安全管理者（薬局長）

事務長

- ・医療安全対策加算 I
- ・医療安全対策地域連携加算 I

【特色・トピックス】

1. インシデントレポートの分析及び対策の検討

2. 医療安全マニュアルの改訂

（アレルギー/禁忌情報共有に関する取り決め、パニック値の報告体制整備、検査同意書の統一、不審者の対応修正/ハリーコール追加、備蓄衛生材料見直し等）

3. 患者参加型誤認防止企画：部署別で作成した川柳やポスターを掲示。患者と職員から良い作品に投票を行うことで、フルネーム確認の定着を図った。

4. 医療安全ニュース発刊：医療の安全性向上に寄与するガイドラインやリスク管理、インシデント報告からの改善や情報共有するべき内容等を記載。4回/年発行

5. ポジティブレポートの推進：毎月ヒヤリハット報告の中から、職員の気付きで事故やエラーを防げた事例を「ポジティブレポート」として選出。院内メールで配信して共有する取り組みを実施している。年間で最も良かった事例に対しては、最優秀賞として表彰を行った。

6. 2カ月に1回、テーマを決めて医療安全ラウンドを実施

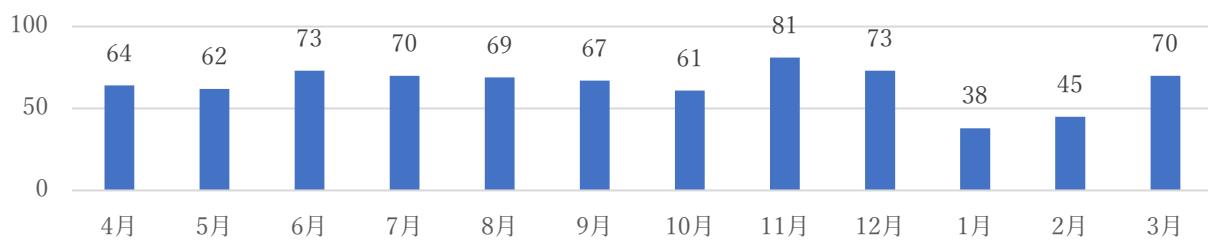
7. 医療安全研修の開催 全職員対象（年2回）、新入職者対象（年2回）

8. 南海トラフ地震を想定した防災訓練、災害対策本部設置訓練の実施

【診療・部署実績】

1. 2024年度インシデント・アクシデント報告件数 773件

2024年度 月別インシデント・アクシデント報告件数

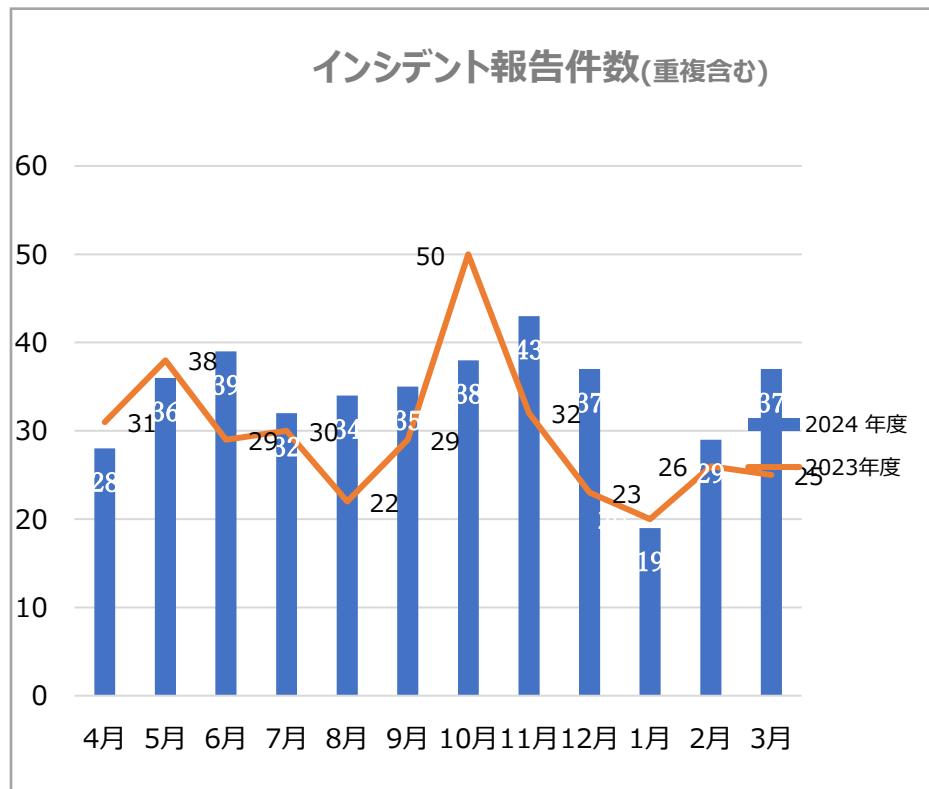


- 1) 全職員対象研修：9月9日 「医療接遇」 3月10日 「患者誤認」
- 2) 新入職者対象：4月4日、2月2日「医療安全オリエンテーション」
- 3) 医師事務作業補助者研修：11月29日「医療安全」「医師事務作業補助者が知っておきたい感染対策」

インシデント報告件数

	2024 年度	2023 年度
4月	28	31
5月	36	38
6月	39	29
7月	32	30
8月	34	22
9月	35	29
10月	38	50
11月	43	32
12月	37	23
1月	19	20
2月	29	26
3月	37	25
合計	407	355

インシデント報告件数(重複含む)

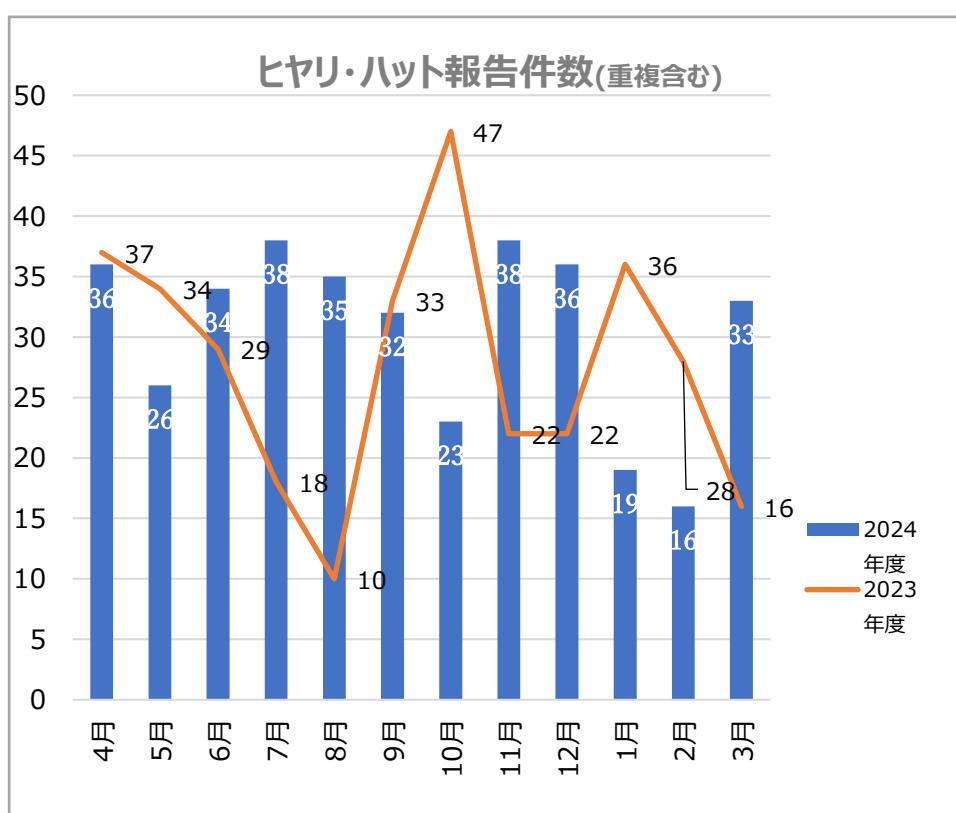


ヒヤリ・ハット報告件数

数

	2024 年度	2023 年度
4月	36	37
5月	26	34
6月	34	29
7月	38	18
8月	35	10
9月	32	33
10月	23	47
11月	38	22
12月	36	22
1月	19	36
2月	16	28
3月	33	16
合計	366	332

年間合計 773 687



レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	19	24	25	25	20	26	28	26	24	12	20	27
2	4	4	3	1	2	4	3	4	1	4	1	3
3a	0	1	1	2	2	0	2	2	1	0	0	0
3b	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	5	7	10	4	10	5	4	11	11	3	8	7
合計	28	36	39	32	34	35	38	43	37	19	29	37

レベル	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	5 年間合計
レベル 0	375	222	380	332	366	1675
レベル 1	246	227	280	260	276	1289
レベル 2	60	35	42	51	34	222
レベル 3a	10	11	24	14	11	70
レベル 3b	2	9	1	2	1	15
レベル 4	0	0	0	0	0	0
レベル 5	0	0	0	0	0	0
その他	18	28	27	28	85	186
合計	711	532	754	687	773	3457

2024年 度			
	合計件数	インシデ ント	ヒヤリハッ ト
4月	64	28	36
5月	62	36	26
6月	73	39	34
7月	70	32	38
8月	69	34	35
9月	67	35	32
10月	61	38	23
11月	81	43	38
12月	73	37	36
1月	38	19	19
2月	45	29	16
3月	70	37	33
合計	773	407	366

◆事務部

【部署概要】

《経営管理》

中・長期および年度計画管理 / 収支管理 / 経営指標管理 / 諸規定管理 / 業務委託管理 / 防災・防犯管理
未収金管理

《診療報酬管理》

診療報酬請求業務 / 施設基準管理 / 審査増減・請求漏れ管理

《個人情報管理》

診療記録管理 / 個人情報保護相談窓口業務 / 患者動向管理

《患者対応》

受付業務 / 会計業務 / 電話交換業務 / 院内掲示管理 / クレーム対応 / 施設内外保安業務

【診療・部署体制】

窓口業務（受付・会計等）の他、スタッフごとに業務を分担することで高い専門性を維持し、業務を定期的にローテートすることで業務の平準化と職員教育に繋げている。

《主な分担業務》

- ・ 診療報酬請求管理（公費/労災）
- ・ 返戻再請求管理
- ・ データ提出加算管理
- ・ 自費診療管理

- ・未収管理

【特色・トピックス】

1. 部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進
2. 施設基準および加算の管理
3. レセプト査定の最小限への取り組み
4. 自己研鑽の推進（学会・勉強会への参加、各種資格の取得）
5. 治験への積極的協力
6. 学生研修の積極的受け入れ

【診療・部署実績】

《他部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進》

メディカルクラーク、視能訓練科と連携して受付業務を効率化し、初診患者の待ち時間短縮に繋げている。

《施設基準および加算の管理》

新規加算取得による増収 / 次年度診療報酬改定を想定した経営指標の試算、対策立案

【資格一覧】

施 設 :	多根記念眼科病院	部 署 : 診療部
役 職・氏名		資 格
院 長 大路 正人	滋賀医科大学名誉教授/医学博士/眼科専門医/眼科指導医/PDT 学会認定医/臨床研修指導医	
副院長 齋藤 伊三雄	医学博士	
副院長 川村 肇	眼科専門医/医学博士/ P D T 学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医/臨床研修指導医	
手術センター長 大江 雅子		
診療部長 西信 良嗣	眼科専門医/臨床研修指導医/医学博士	
診療副部長 宋 よんす	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
医 長 北方 秀憲	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
伊集院 朋子	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
医局長 三島 雅	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医/ PDT 学会認定医	
医長 越智 靖之	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	

谷村 直紀	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボックス認定医/医学博士
医長 倉石 隆弘	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボックス認定医
大塚 友貴	
山口 雅也	

施設 :	多根記念眼科病院	部署 : 看護部
	資格	人数
	認定看護管理者	1名
	感染管理認定看護師	1名

施設 :	多根記念眼科病院	部署 : 視能訓練科
	資格	人数
	認定視能訓練士	3名

施設 :	多根記念眼科病院	部署 : 薬局
	資格	人数
	治験コーディネーター	2名
	認定実務実習指導薬剤師	2名
	日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
	サプリメントアドバイザー	1名
	公認スポーツファーマリスト	2名
	小児薬物療法認定薬剤師	1名
施設 :	多根記念眼科病院	部署 : 検査科
	資格	人数
	第2種滅菌技士	1名

施設 :	多根記念眼科病院	部署 : 栄養科
	資格	人数
	病態栄養専門管理栄養士	1名

【学会発表】	施設 :	多根記念眼科病院	部署 :	医局
会名称	第6回アイリスの会			

発表テーマ	眼内レンズ強膜内固定		
日時	2024年9月14日	発表者	大塚 友貴
場所	ホテルモントレグラスミア大阪		
会名称	第6回アイリスの会		
発表テーマ	硝子体出血の原因と治療		
日時	2024年9月14日	発表者	越智 靖之
場所	ホテルモントレグラスミア大阪		
会名称	第6回アイリスの会		
発表テーマ	抗がん剤眼副作用		
日時	2024年9月14日	発表者	大江 雅子
場所	ホテルモントレグラスミア大阪		
会名称	第6回アイリスの会		
発表テーマ	網膜硝子体疾患の診療 Up-to-Date		
日時	2024年9月14日	発表者	大路 正人
場所	ホテルモントレグラスミア大阪		
会名称	第462回 大阪眼科集談会		
発表テーマ	眼内レンズ強膜内固定を施行した眼内レンズ脱臼の症例の検討		
日時	2024年10月5日	発表者	大塚 友貴
場所	毎日新聞オーバルホール		
会名称	第7回あべの眼科研究会		
発表テーマ	流涙はわかると面白い！！～流涙診療の実際～		
日時	2024年11月23日	発表者	大江 雅子
場所	マリオット都ホテル20階		
会名称	第63回日本網膜硝子体学会総会		
発表テーマ	眼内レンズ脱臼の症例の検討		
日時	2024年12月6日	発表者	大塚 友貴
場所	大阪国際会議場		
会名称	第48回日本眼科手術学会学術総会		
発表テーマ	教育セミナー 白内障手術指導を担当して		
日時	2025年2月2日	発表者	大塚 友貴
場所	パシフィコ横浜		

会名称	OSAKA Ophthalmology Seminar 2025		
発表テーマ	バビースモ投与経験から治療方針を考える		
日時	2025年7月4日	発表者	大塚 友貴
場所	キャノピー by ヒルトン		

【学会発表】	施設 :	多根記念眼科病院	部署 :	看護部
会名称	第40回日本視機能看護学会学術総会			
発表テーマ	網膜剥離手術を受けた老年期患者の退院後日常生活の実態調査			
日時	2024年10月27日	発表者	吉岡 菜津美	
場所	中日ホール&カンファレンス			

【執筆・論文】	施設 :	多根記念眼科病院	部署 :	医局		
掲載誌名	南江堂「眼科疾患 最新の治療 2025-2027」					
執筆・論文 タイトル	III後眼部疾患 (1) 網膜・硝子体疾患 D. 網膜血管障害 5. Coats 病、Leber 栗粒血管腫症					
著者	西信 良嗣	掲載号 掲載年等	2024・11			
掲載誌名	中山書店「眼科診療エクレール 6」					
執筆・論文 タイトル	最新網膜循環疾患コンプリートガイド-所見・検査、疾患と診断・治療のすべて Chapter 3.17 高血圧網膜症					
著者	西信 良嗣	掲載号 掲載年等	2024・11			